

自己評価（前年度）

※「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価」のチェック項目を用いて自己評価しています

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価				
データ 分析 表	データ表			データグラフ
	内容	項目数	平均	
	「乳児保育」	15	4.67	
	「3歳未満児保育」	26	4.38	
	「3歳以上児保育」	52	4.42	
	「教育保育の配慮事項」	9	5.00	
	「健康・安全」	23	4.35	
	「子育ての支援」	18	4.33	
	「職員の資質向上」	9	4.33	
	計	152	4.45	
総合 評価	<p>0～5歳児と一緒に過ごし、関わりを持ちながら、小さな集団だからこそ、乳児期に必要な環境、幼児期に必要な環境を準備し、こどもの姿から随時変更しながら遊びの充実をはかってきた。環境を整えることで、こども自身だけでなく、保育の質の向上にもつながった。</p>			

事業計画（今年度の重点目標）

項目	内容
個々の満足度につなげていく	日常生活において、主体的な活動を把握し、一人一人の満足度や思いを受け止め、職員間で共有していく。振り返りをいかし、質の向上につなげていく。
サービス改善の取り組み	行事でのアンケートや日々のブレインから保護者とコミュニケーションを取りながら、こどもの姿を共有し、こどもの健やかな育ちにつなげていく。
地域への見える化、魅せる化	ポートフォリオや動画、展示会など日頃の姿を見える化・見せる化し、園の実践を発信するとともに、地域の中の保育園ということを意識していく。